

7月6日(火) 定例記者会見 質疑応答要旨

ナルトレタビ完成について

(記者)

ナルトレタビについて、改めて普通の足袋とどこが一番違うのか、また、足袋を使ったトレーニングをするとどのような効果が得られるのかについて教えてください。

(鳴門市まちづくりアドバイザー 木場 克己)

ナルトレタビと普通の足袋との違いは、インソールの入ったこの形状です。足指を鍛えるために、インソールが足指の関節の手前でカットされています。ナルトレタビを履いて、トレーニングを実施することで、足指で地面をしっかりと咬むことができるようになり、足裏のアーチの形成が促され、転倒や捻挫をしにくくなります。

(記者)

足袋はただ履いているだけではなく、トレーニングをすることで効果が得られるのですか。

(鳴門市まちづくりアドバイザー 木場 克己)

インソールがアーチ状になっているので、足指が自然と垂れ下がる状態になり、足指の設置面積が増えることから、トレーニングをしなくても足指がしっかり使えるということになります。

さらに私の考案したトレーニングを行ってもらえれば、後ろから見た時に踵の骨が内側に入っているX脚や外側に入っているO脚が改善し、踵の骨が真っすぐになったというデータが出ています。そうした結果を踏まえると、足袋を履いてトレーニングすることがベストになるかとは思いますが。

(記者)

市内の小中学校で上履きの代わりに導入することについてどうでしょうか。

(市長)

それについても考えてはいますが、1 足の値段が結構します
ので、もう少し効果検証をして、その後に進めたいと思っていま
す。

(記者)

効果が実証されれば導入もあるということですか。

(市長)

効果はあると思うのですが、まだ8名の効果検証しかできて
いないので、もう少し広げて実証データを出していければという
思いがあります。

(記者)

インソールを作られた会社はなんという会社でしょうか。

(スポーツ課職員)

香川県の日本ケミフェルト株式会社です。

(記者)

市内の方で実証実験をされたと思うのですが、公表できるデータはありますか。

(鳴門市まちづくりアドバイザー 木場 克己)

株式会社ドリーム・ジープーという大阪の会社に鳴門へ来ていただいて、足指筋力や足底圧などのデータをトレーニングしている人としていない人に分けて 8 人分測定しています。データにつきましては、スポーツ課でご確認いただければと思います。

NARUTO スポーツフード完成について

(記者)

一般の方が購入される場合には予約販売、スポーツ大会や合宿誘致の場合には市や団体からの大型発注になるということでしょうか。

(市長)

そうです。

(記者)

鳴門市ならではのものや鳴門市の特産のものが使われているとのことでしたが、どういったものが使われていますか。

(市長)

ハンバーグの具材にレンコンを使っていたり、春雨サラダに鳴門わかめ、大学いもやジャーマンポテトになると金時を使っています。

新型コロナウイルス感染症対策について

～緊急支援策第12弾～

(記者)

前回に利用可能だった事業者数と、今回プラスになった事業

者の数を教えてください。

(市長)

前回の食べ乗りですが、飲食店は123店舗、タクシー会社は5社、運転代行が1社で合計129店舗になります。今回の事業者数については、これから店舗の登録をしていただくことになるので、まだはっきりとした数字は出ておりませんが、またデータができ次第、公式ウェブサイト等で公表させていただくので、それを参照していただければと思います。

(記者)

参加される事業者の方の申込開始日と、チケットの利用期限は決まっているのでしょうか。

(市長)

詳しくはこれからの話になりますが、まずは応募をしていただいて登録店を決めていきます。その後、9月の中旬をめどに皆様方へ販売をするということになります。まだ詳しい日程につい

ては決まっていますが、スケジュールについてはそのようになると思います。

(記者)

確認になりますが、7月中旬応募開始というのは登録店の応募開始ということでしょうか。

9月中旬に一般の皆様へ販売、利用開始ということ、また期限については今のところ未定ということでしょうか。

(市長)

7月中旬から事業者の募集と一般の皆様からの申し込みを受け付けていきます。合計30,000セットですが、それ以上の応募があったときは抽選で、それ以内であれば応募者全員に販売するという事になっております。使用期限については、現在、調整中です。